

3 愛知県・名古屋市での節水努力の呼びかけ

土地水資源課
産業立地通商課
農地計画課
水道計画課
水道事業課

【愛知県・名古屋市での節水努力の呼びかけ】

○ 広報活動のとりまとめ

愛知県では、平成 26 年度に次のとおり「水の大切さ」や「節水」等呼びかける広報活動を行った。

愛知県における節水PR等に関する取組状況について

部 局 名	取 組 内 容	備 考
地域振興部 土地水資源課	○ホームページで節水型社会の形成に向けてのPR	⇒資料①
	○節水ステッカーの配布	⇒資料②
産業労働部 産業立地通商課	○「工業用水施策のあらまし」ホームページ掲載	⇒資料③
農林水産部 農地計画課	○「あいちの農業用水展」開催	⇒資料④
企業庁 水道計画課 水道事業課	【平常時】	
	○パンフレット・パネル展示等による節水啓発	⇒資料⑤
	○水道週間の各イベントにおける節水の啓発	⇒資料⑥
	○小学4年生を対象とした出張講座	⇒資料⑦
	○ホームページに水源状況の掲載	⇒資料⑧
	○水道事務所における水源状況の掲示	⇒資料⑨
	【渇水時】	
	○節水への協力を呼びかける広報活動	⇒資料⑩
	○ホームページに節水対策状況の掲載	⇒資料⑪
	○各水道事業者への給水制限実施の通知	⇒資料⑫

土地水資源課 水資源対策のページ

[2014年7月29日]

水資源開発の概要

- [水使用実績の現況](#)
- [水資源開発概要図](#)
- [設楽ダム建設事業について](#)
- [木曾川水系連絡導水路事業について](#)
→[検証対象ダム事業の関係地方公共団体からなる検討の場（国土交通省中部地方整備局）](#)
- [長良川河口堰検証について](#)

水源地域対策

- [水源地域と受益地域の交流](#)

『水』を感じる旅をご紹介します



私たちの生活に深く関わる『水』を感じる旅をご紹介します。

節水型社会の形成

- [「水の日」「水の週間」・中学生水の作文コンクール](#)
- [家庭でできる簡単な節水方法](#)

水源の状況

- [国土交通省 中部地方整備局 提供](#)
- [独立行政法人 水資源機構中部支社 提供](#)

第36回「全日本中学生水の作文コンクール」審査結果について

[2014年9月2日]

平成26年7月29日（火曜日）発表

毎年8月1日は「水の日」です。平成26年3月に水循環基本法が成立し、国民の間に広く健全な水循環の重要性についての理解と関心を深めるため同法により「水の日」が定められました。この日から7日までは「水の週間」とされ、「水の日」の行事の一環として、国土交通省及び各都道府県では、次代を担う中学生を対象に水の作文コンクールを実施しております。

第36回となる今年度は、「水について考える」をテーマに募集したところ、愛知県では県内の中学生から258編の応募があり、うち8編を愛知県表彰における優秀作文として選定しました。

愛知県審査の概要及び結果

- 1 募集期間 平成26年4月1日から5月9日まで
- 2 テーマ 「水について考える」（題名は自由）
- 3 応募数 258編（応募学校数11校）

愛知県審査結果（入賞者8名、敬称略、賞区分ごとに50音順）

賞区分	氏名	学校名・学年	作文題名
最優秀賞	尾之内 法子 (おのうち のりこ)	常滑市立南陵中学校・3年	水不足にならないために
優秀賞	岩川 晴香 (いわかわ はるか)	常滑市立南陵中学校・3年	無限ではない水
優秀賞	鈴木 日奈子 (すずき ひなこ)	名古屋市立守山北中学校・3年	節水という二文字から
入選	小林 諒 (こばやし りょう)	犬山市立東部中学校・3年	かけがえのない水
入選	仲川 晴斐 (なかがわ はるひ)	豊橋市立南部中学校・2年	未来へつなぐ命の水
入選	藤井 里帆 (ふじい りほ)	常滑市立青海中学校・1年	水に苦労しない社会へ
入選	船戸 七美 (ふなと ななみ)	常滑市立南陵中学校・3年	水の大切さ
入選	山口 莉奈 (やまくち まりな)	名古屋市立振甫中学校・3年	水の水生

※ 最優秀賞・優秀賞：賞状、盾、副賞

入選：賞状、副賞

※ 最優秀賞及び優秀賞作品は、[第36回「全日本中学生水の作文コンクール」愛知県表彰 受賞作文のページ](#)にてご覧になれます。

(参考)

募集案内



[\(ファイル名:36th_bosyuannnai.pdf サイズ:173.08 KB\)](#)

第36回「全日本中学生水の作文コンクール」募集案内



PDFファイルの閲覧には Adobe Reader が必要です。同ソフトがインストールされていない場合には、[Adobe 社のサイトから Adobe Reader をダウンロード（無償）してください。](#)

中央審査（国土交通省）入賞作文につきましては、[国土交通省水管理・国土保全局水資源部のホームページ](#)にてご覧になれます。

[土地水資源課のページへ](#)

お問い合わせ

愛知県 地域振興部 土地水資源課
企画・調整グループ
電話：052-954-6118（ダイヤルイン）
E-mail：tochimizu@pref.aichi.lg.jp

[ページの先頭へ戻る](#)

[県機関の連絡先](#)

[個人情報の取扱い](#)

[Webページ作成方針](#)

[リンク方針](#)

[ネットあいちについて](#)

愛知県

Copyright © 2007-2015, Aichi Prefecture. All rights reserved.

**第36回「全日本中学生水の作文コンクール」愛知県表彰 最優秀賞 『水不足にならないために』**

[2014年7月29日]

『水不足にならないために』 常滑市立南陵中学校 3年 尾之内 法子（おのうち のりこ）

「水を出しっぱなしにしてはいけないよ。」

これは、水を流したまま歯磨きをしていた私に祖母が言った言葉です。私は、水道の蛇口をひねれば、いつでも簡単に水を使うことができ、それを当然のように思っていました。

「昔、この町は深刻な水不足になったことがあるんだよ。」

私は、祖母から聞いた話をきっかけに、私の住む町の歴史を調べました。そして、水がとても貴重であることを思い知りました。

私の住む町は知多半島にあります。愛知県には木曾川や豊川、矢作川などの大きな川があるものの、知多半島には大きな川がありません。そのため、水源に乏しく、井戸やため池を作って濁水に備えていました。水不足は深刻で「知多の豊年米食わず」という知多半島が豊作の年は他の地方は米ができないということわざもあったそうです。一九四七年には、ため池の水がなくなり、作物が枯れるなどの大きな被害がでました。知多半島の人々はこの大干ばつを契機に国家事業として愛知用水を作るように働きかけ、一九六一年には木曾川の水が愛知用水を流れ、知多半島へ届けられました。これによって、知多半島の人々の農業用水、工業用水、飲み水が確保され、水に悩むことなく暮らせるようになったのです。

私たちが今、貴重な水を当たり前のように手に入れることができるのは、日本がつくってきた社会によって、私たちのところへ水が届くようになっているからです。私は、知多半島の歴史を知り、いつでも簡単に水を得ることができる私の生活は幸せなことであると気付きました。普段何気なく使っている水は、実は私たちにとってかけがえのないものなのです。

水は、有限資源であることを私たちは忘れてはいけません。私たちが水の無駄使いをすれば、きっとまた水不足になるでしょう。水は、人が生きていくなかで必要不可欠です。水は、人にいろいろな力を与えてくれます。だからこそ、この大切な水を私たちが守っていかななくてはならないのです。

そこで、私は自分の生活を見直しました。水を流したまま歯磨きをしたり、シャワーを必要以上に浴びたりしていた私は、水を無駄に使っていたんだと改めて思いました。祖母の生活に目を向けてみると、食器を洗うときは水道から流す水を少なくしたり、お風呂の残り湯を洗濯用水に活用したりしていて、水を大切に、大切に使っていました。

「いつ水がなくなってしまうかわからないからね。」

私は、水があることのありがたさを祖母の言動から教えられました。そして、水を大切にしていなかった自分が情けなくなりました。それから私は、できるだけ水を無駄に消費しないように心がけて生活をしています。今まで「節水」という言葉を知っていても自分からすすんでしたことがなかった私は、節水しながら過ごす日々小さな達成感さえ感じます。

私たちは今、水資源に恵まれた環境で生きています。しかし、私たちはいつ水不足という危機に直面するかわかりません。人は使い、人が減らしてしまうものは、人でしか解決できません。だからこそ、貴重な水資源を今のように豊かなまま未来の人々へつなぐことが私たちに求められていることなのではないでしょうか。私はこれから水を支え、水に支えられ、水と共に歩み続けていきたいです。

[受賞作文のページへ戻る](#)

関連コンテンツ

- ❖ [第36回「全日本中学生水の作文コンクール」愛知県表彰 受賞作文](#)
- ❖ [第36回「全日本中学生水の作文コンクール」愛知県表彰 最優秀賞 『水不足にならないために』](#)
- ❖ [第36回「全日本中学生水の作文コンクール」愛知県表彰 優秀賞 『無限ではない水』](#)
- ❖ [第36回「全日本中学生水の作文コンクール」愛知県表彰 優秀賞 『節水という二文字から』](#)

お問い合わせ

愛知県 地域振興部 土地水資源課
企画・調整グループ
電話：052-954-6118(ダイヤルイン)
E-mail: tochimizu@pref.aichi.lg.jp

[ページの先頭へ戻る](#)

[県機関の連絡先](#)

[個人情報の取扱い](#)

[Webページ作成方針](#)

[リンク方針](#)

[ネットあいちについて](#)

愛知県

Copyright © 2007-2015, Aichi Prefecture. All rights reserved.